

金足農高生ら開発

ヤマビルよけ

来月販売開始

ヤマビルの吸血被害を



商品化したダウンヒルを佐竹知事に説明する加藤さん（奥右）ら

減らそうと秋田県内の高校生が開発し、4年がかりで昨年特許を取得した忌避剤「ダウンヒル」が、6月1日に発売される。開発メンバーの秋

田県立大3年加藤愛咲さん(21)は「農家や登山客などに使ってほしい」と喜んでいる。

商品は秋田市内の香水専門店「パレアンヌ」で取り扱う。開発を知った同店代表の中田邦子さん(51)が香りやアルコールの調整、パッケージの工夫などで、女性や子どもにも使いやすいように仕上げた。

ダウンヒルは加藤さんが金足農高1年だった2009年、同級生らとともに開発に着手。ヤマビルが低温を嫌がる性質に着目し、冷たさを感じる成分を主に加え、効果を大きくした。10年11月に特許を申請し、昨年3月に取得した。

加藤さんや中田さんらは16日、県庁を訪れ、佐竹敏久知事に商品化を報告した。今後、ネット販売を通じて全国展開に取り組む予定。

